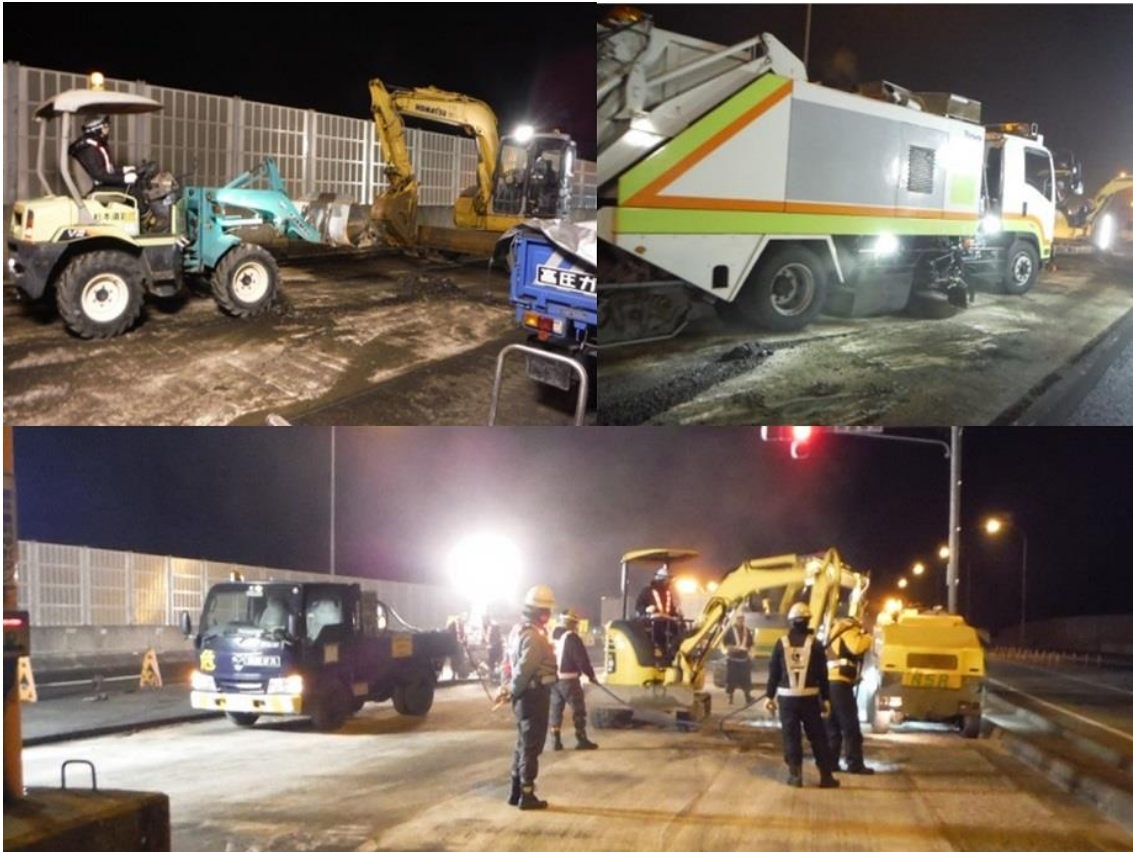


国道2号岡山バイパス 西大寺中野インターチェンジが生まれ変わります！～信号機が撤去、インターチェンジからの合流長さが改良されます～

2018.02.20



皆さん、こんにちは！

国道2号を岡山市内から大阪方面に向かって車で走っていると、

岡山市東区西大寺地域で突如現れる信号機！！

皆さんはこの信号機のご存在をご存知ですか？

○バイパスに突如現れた信号機



バイパスに信号機があるなんて珍しいですね。

この信号機、赤信号で止まっている車に後ろからの車が追突する事故が起きることがあるそうです。

それを改善しようと信号機をなくし、そのかわりにインターチェンジからバイパスに入ってくる車が自然に合流するために必要な道路を作っています。

バイパス本線へは通常は左側から合流する人が多いと思うのですが、この西大寺中野 IC は反対の右側から合流するインターチェンジ！！

こういった形状は、地方では珍しいのではないのでしょうか。

私もこのようなインターチェンジを見るのは初めてです！

信号機がなくなると、今まで信号で止まっていたバイパスがスムーズに走行できるようになりますね！

そこで、今回は作業も大詰めを迎えている国道 2 号岡山バイパス西大寺中野 IC

(インターチェンジ) の工事現場にやってきました。

工事の最終段階になる舗装工事を担当している(株)NIPPO の監理技術者の岡本さんに現場での作業を紹介してもらいました。

「冬場の夜間作業のため、何枚も着込むのですが、作業していると逆に暑くなって脱いだりと調整が大変なんです。」と岡本さん。

また、風が強いと気温以上に寒いので、天気予報での風速のチェックは欠かせないのだそう。

寒空の下、屋外で夜通し作業をするなんて寒がりの私には耐えられそうにありません・・・！

体調に気をつけてがんばって欲しいですね。

ではさっそく舗装工事の様子をご紹介します！

○アスファルト舗装の材料を運んできます。

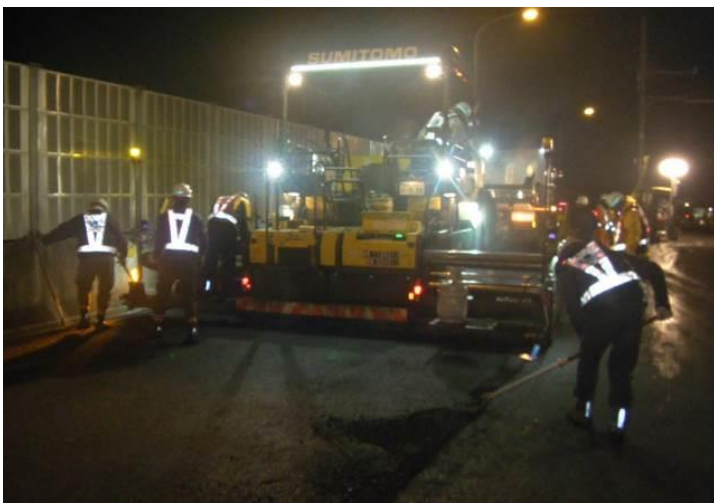
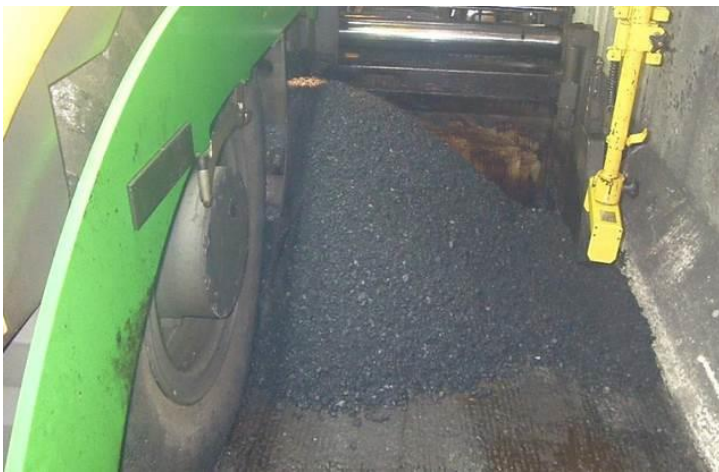


アスファルト舗装の材料のことを、アスファルト合材 (ごうざい) といいます。アスファルト合材の温度は 110 度以上。トラックの荷台を保温シートで覆って、温度が下がらないように気を配ります。



炊きたてのお米のように
ほかほか、やわらかい
～！！

○湯気が立っているアスファルト合材を敷きつめて、『アスファルトフィニッシャ』という機械で平らになるようにならしていきます！



細かいところは手作業でならします！

簡単そうに見えますが、アスファルト合材は粘りがあり、うまくできるようになるまでに何年もかかるのだそうです。

○ある程度表面が整ったら、ローラーでぎゅっと押し固めます。



○ワンちゃんのお散歩のようですが、『平坦性試験』というれっきとしたお仕事です。

路面が凸凹なく平らにできているかを調べて完成です！



○工事の完成までもう少し！



2月23日の朝には新しく生まれ変わった道路で走れるようになるとのこと。
走ってみるのが今から楽しみです☆
信号機が無くなっても交通安全には気を付けて走りましょうね。

著者：岡南維持出張所 おっさん女子とN